

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2019年11月14日
【四半期会計期間】	第74期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	萬世電機株式会社
【英訳名】	MANSEI CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 占部 正浩
【本店の所在の場所】	大阪市福島区福島7丁目15番5号
【電話番号】	06(6454)8211（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 平井 徹
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区福島7丁目15番5号
【電話番号】	06(6454)8211（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 平井 徹
【縦覧に供する場所】	萬世電機株式会社神戸支店 （神戸市兵庫区高松町2番3号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第73期 第2四半期連結 累計期間	第74期 第2四半期連結 累計期間	第73期
会計期間	自2018年4月 1日 至2018年9月30日	自2019年4月 1日 至2019年9月30日	自2018年4月 1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	11,304,945	11,480,863	23,626,561
経常利益 (千円)	379,283	399,647	803,011
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	251,926	255,890	532,542
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	223,989	251,756	413,968
純資産額 (千円)	10,760,148	11,073,667	10,890,552
総資産額 (千円)	20,189,604	18,514,761	19,936,489
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	110.10	111.84	232.75
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	53.3	59.8	54.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	586,960	145,913	534,602
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	11,769	94,805	12,856
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	54,913	76,720	106,409
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	4,032,891	3,606,326	3,927,074

回次	第73期 第2四半期連結 会計期間	第74期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2018年7月 1日 至2018年9月30日	自2019年7月 1日 至2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	72.83	67.40

- (注) 1.当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2.売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3.潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4.当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 財政状態

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は185億14百万円（前連結会計年度末比14億21百万円減）となりました。

流動資産は155億10百万円（同比14億29百万円減）となりました。これは主に現金及び預金の減少3億20百万円、受取手形及び売掛金の減少8億38百万円、電子記録債権の減少1億71百万円などによるものです。

固定資産は30億4百万円（同比8百万円増）となりました。これは主に無形固定資産の増加64百万円、有形固定資産の減少56百万円などによるものです。

##### (負債)

負債合計は74億41百万円（同比16億4百万円減）となりました。

流動負債は67億83百万円（同比15億79百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少14億24百万円、未払法人税等の減少62百万円などによるものです。

固定負債は6億58百万円（同比25百万円減）となりました。これは主に役員退職慰労引当金の減少37百万円、繰延税金負債の増加10百万円などによるものです。

##### (純資産)

純資産合計は110億73百万円（同比1億83百万円増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2億55百万円、配当金の支払額68百万円により利益剰余金の増加1億87百万円、その他有価証券評価差額金の減少3百万円などによるものです。

#### (2) 経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとした海外経済の減速やIT需要の落ち込みを背景とした輸出の低迷が続くなか、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの関連する業界につきましては、設備関連では食品、物流等における設備投資が堅調に推移しておりますが、半導体関連では産業機器を中心に需要の落ち込みが続きました。

このような状況の中、当社グループは、顧客起点の徹底による営業力強化と生産性向上を目的とする営業働き方改革の取り組みをスタートさせ、市場の変化やお客様の多様なニーズをしっかりと捉え、事業規模の拡大に取り組んでまいります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は114億80百万円（前年同期比1.6%増）となり、販売費及び一般管理費が減少したことにより、営業利益は3億97百万円（同比7.2%増）、経常利益は3億99百万円（同比5.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億55百万円（同比1.6%増）となりました。

各セグメントの状況は、次のとおりであります。

##### (電気機器・産業用システム)

電気機器につきましては、配電制御機器は増加しましたが、機械装置向け需要の鈍化や一部顧客の在庫調整の影響を受け減少しました。産業用システムにつきましては、国内プラント設備向け需要が伸長し増加しました。

この結果、部門全体では売上高57億82百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

##### (電子デバイス・情報通信機器)

電子デバイスにつきましては、民生系需要が若干増加しましたが、産業系需要は低迷し減少しました。情報通信機器につきましては、PC・サーバー等のIT投資が堅調に推移し増加しました。

この結果、部門全体では売上高32億6百万円（前年同期比3.0%増）となりました。

(設備機器)

設備機器につきましては、各種工場、ビル、物流倉庫向け需要は堅調ですが、大口案件の変動により減少しました。

この結果、部門全体では売上高24億24百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

(太陽光発電)

太陽光発電につきましては、概ね想定どおりに発電し、売上高66百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は36億6百万円（前連結会計年度末比3億20百万円減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により使用した資金は1億45百万円（前年同四半期は5億86百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上3億94百万円と、売上債権の減少額10億57百万円などの増加、仕入債務の減少額14億19百万円、法人税等の支払額1億86百万円などの減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は94百万円（前年同四半期は11百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出15百万円、無形固定資産の取得による支出72百万円、長期前払費用の取得による支出5百万円などの減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は76百万円（前年同四半期は54百万円の使用）となりました。これは短期借入金の返済による支出8百万円、配当金の支払額68百万円によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,300,000	2,300,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	2,300,000	2,300,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日	-	2,300,000	-	1,005,000	-	838,560

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
三菱電機株式会社	東京都千代田区丸の内2-7-3	500	21.86
日光産業株式会社	大阪市福島区福島7-15-2 萬世ビル内	266	11.65
Black Clover Limited (常任代理人 三田証券株式 会社)	Sertus Chambers, Suite F24, First Floor, Eden Plaza, Eden Island, PO Box 334, Mahe, Seychelles (東京都中央区日本橋兜町3-11)	95	4.18
ピーエムキャピタルインベ ストメント合同会社	東京都港区六本木7-18- 1 -702	75	3.31
株式会社サンセイテクノス	大阪市淀川区西三国1-1-1	60	2.62
株式会社三菱UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	55	2.40
INTERACTIVE BROKERS LLC (常任代理人 インタラク ティブ・ブローカーズ証券株 式会社)	ONE PICKWICK PLAZA GREENWICH, CONNECTICUT 06830 USA (東京都中央区日本橋茅場町3-2-10)	50	2.22
東洋電機製造株式会社	東京都中央区八重洲1-4-16	50	2.19
占部正浩	兵庫県西宮市	49	2.16
萬世電機従業員持株会	大阪市福島区福島7-15-5	49	2.15
計	-	1,252	54.73

(6) 【議決権の状況】  
 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 11,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,285,900	22,859	-
単元未満株式	普通株式 2,200	-	-
発行済株式総数	2,300,000	-	-
総株主の議決権	-	22,859	-

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
萬世電機株式会社	大阪市福島区福島7丁目15番5号	11,900	-	11,900	0.52
計	-	11,900	-	11,900	0.52

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,927,074	6,606,326
受取手形及び売掛金	6,889,050	6,050,489
電子記録債権	2,139,426	1,967,777
商品	733,962	645,685
未収入金	200,306	182,849
その他	55,105	61,522
貸倒引当金	4,510	4,006
流動資産合計	16,940,414	15,510,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,495,110	1,461,036
機械及び装置（純額）	512,307	490,640
土地	113,613	113,613
建設仮勘定	-	233
その他（純額）	18,613	17,705
有形固定資産合計	2,139,644	2,083,229
無形固定資産	22,197	86,741
投資その他の資産		
投資有価証券	728,343	724,322
その他	121,729	125,664
貸倒引当金	15,840	15,840
投資その他の資産合計	834,232	834,146
固定資産合計	2,996,074	3,004,118
資産合計	19,936,489	18,514,761

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,173,179	5,748,397
短期借入金	358,080	350,000
未払法人税等	201,111	138,249
賞与引当金	156,048	148,637
役員賞与引当金	33,496	12,600
その他	440,535	385,116
流動負債合計	8,362,451	6,783,000
固定負債		
繰延税金負債	402,793	413,225
役員退職慰労引当金	123,300	86,000
退職給付に係る負債	18,636	9,490
資産除去債務	66,986	67,387
その他	71,768	81,989
固定負債合計	683,485	658,093
負債合計	9,045,937	7,441,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005,000	1,005,000
資本剰余金	838,560	838,560
利益剰余金	8,834,413	9,021,663
自己株式	15,427	15,427
株主資本合計	10,662,546	10,849,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	227,569	224,018
為替換算調整勘定	1,152	1,514
退職給付に係る調整累計額	1,588	1,366
その他の包括利益累計額合計	228,005	223,871
純資産合計	10,890,552	11,073,667
負債純資産合計	19,936,489	18,514,761

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
売上高	11,304,945	11,480,863
売上原価	9,788,049	9,966,332
売上総利益	1,516,895	1,514,531
販売費及び一般管理費	1,145,753	1,116,827
営業利益	371,142	397,703
営業外収益		
受取利息	365	334
受取配当金	12,099	12,756
その他	5,435	3,660
営業外収益合計	17,900	16,751
営業外費用		
支払利息	1,010	1,125
売上割引	7,330	8,100
為替差損	604	4,653
その他	813	927
営業外費用合計	9,759	14,807
経常利益	379,283	399,647
特別利益		
投資有価証券売却益	2,518	-
特別利益合計	2,518	-
特別損失		
減損損失	-	5,531
特別損失合計	-	5,531
税金等調整前四半期純利益	381,801	394,116
法人税、住民税及び事業税	144,238	126,382
法人税等調整額	14,362	11,843
法人税等合計	129,875	138,225
四半期純利益	251,926	255,890
親会社株主に帰属する四半期純利益	251,926	255,890

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	251,926	255,890
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,159	3,550
為替換算調整勘定	871	362
退職給付に係る調整額	2,648	222
その他の包括利益合計	27,936	4,134
四半期包括利益	223,989	251,756
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,989	251,756
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	381,801	394,116
減価償却費	66,267	71,453
減損損失	-	5,531
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	1,670	37,300
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	13,082	9,466
役員賞与引当金の増減額(は減少)	18,517	20,896
賞与引当金の増減額(は減少)	1,216	7,411
受取利息及び受取配当金	12,465	13,091
支払利息	1,010	1,125
為替差損益(は益)	554	1,999
投資有価証券売却損益(は益)	2,518	-
売上債権の増減額(は増加)	504,234	1,057,830
たな卸資産の増減額(は増加)	126,459	88,080
仕入債務の増減額(は減少)	75,425	1,419,491
その他	6,565	83,601
小計	698,382	28,879
利息及び配当金の受取額	12,363	12,990
利息の支払額	813	911
法人税等の支払額	122,972	186,871
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>586,960</b>	<b>145,913</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	3,000,000	3,000,000
定期預金の払戻による収入	3,000,000	3,000,000
有形固定資産の取得による支出	17,131	15,629
無形固定資産の取得による支出	-	72,900
投資有価証券の取得による支出	808	842
投資有価証券の売却による収入	5,819	-
長期前払費用の取得による支出	-	5,168
その他	350	264
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>11,769</b>	<b>94,805</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	8,080
配当金の支払額	54,913	68,640
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>54,913</b>	<b>76,720</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	272	3,307
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	520,004	320,748
現金及び現金同等物の期首残高	3,512,886	3,927,074
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,032,891	3,606,326

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
給料及び賞与	367,964千円	370,593千円
配送保管費	142,050	138,869
福利厚生費	121,595	123,134
退職給付費用	21,268	20,709
役員退職慰労引当金繰入額	10,430	6,000
賞与引当金繰入額	132,974	135,719
役員賞与引当金繰入額	14,680	12,600
貸倒引当金繰入額	206	502
減価償却費	44,962	50,231

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	7,032,891千円	6,606,326千円
預入期間が3か月を超える定期預金	3,000,000	3,000,000
現金及び現金同等物	4,032,891	3,606,326

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	54,913	12	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月6日 取締役会	普通株式	59,489	13	2018年9月30日	2018年12月7日	利益剰余金

(注) 2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式併合前の金額を記載しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	68,640	30	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月5日 取締役会	普通株式	64,064	28	2019年9月30日	2019年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額(注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電気機器・ 産業用シス テム	電子デバイ ス・情報通 信機器	設備機器	太陽光発電	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,671,398	3,112,147	2,456,431	64,967	11,304,945	-	11,304,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	5,671,398	3,112,147	2,456,431	64,967	11,304,945	-	11,304,945
セグメント利益(営業利益)	258,197	46,368	85,428	33,401	423,395	52,252	371,142

(注)セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。  
 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額(注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	電気機器・ 産業用シス テム	電子デバイ ス・情報通 信機器	設備機器	太陽光発電	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,782,904	3,206,349	2,424,892	66,717	11,480,863	-	11,480,863
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	5,782,904	3,206,349	2,424,892	66,717	11,480,863	-	11,480,863
セグメント利益(営業利益)	269,548	55,909	84,907	36,670	447,035	49,332	397,703

(注)セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。  
 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	110円10銭	111円84銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	251,926	255,890
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益(千円)	251,926	255,890
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,288	2,288

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2019年11月5日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....64,064千円

(ロ) 1株当たりの金額.....28円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....2019年12月10日

(注) 2019年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月6日

萬世電機株式会社

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 尾仲 伸之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士 岩淵 貴史 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている萬世電機株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、萬世電機株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。